

葛川小中学校だより

葛川小・中学校 学校だより 令和4年 3月号 在籍児童・生徒数 37名 3月24日発行

第47回卒業証書授与式 3/15

第148回卒業証書授与式 3/18



3月15日(火)、第47回葛川中学校卒業証書授与式は、卒業生、保護者、在校生、教職員の参列する中、温かい雰囲気につつまれて行うことができました。本来であれば、私たちを支えていただいた多くのご来賓の皆様にご参列いただき、お祝いの言葉をいただきましたかったのですが、コロナ禍での開催で、参加人数を縮小して行うことになりました。

卒業生の皆さんは、小中学の在校生のあこがれの存在でした。小中が連携して多くの教育活動を展開しているため、3人は常に全校をリードしてくれました。特にKCLプロジェクトの活動は、先輩から引き継いだ、学校存続への熱い思いを形にしていく大きな取り組みでした。そして同時に、この地域の皆様の願いとつながるものでした。3日間かけての「びわ湖イカダ旅」は多くの協力者の支援を取り付け、見事に達成しました。トム・ソーヤースクール企画コンテストで最優秀賞(文部科学大臣賞)に輝いて、世間からも高い評価を受けました。

本校を巣立つ3人の皆さんへのはなむけの言葉として、昨年、北海道から来校いただいた植松努さんの言葉を贈ります。「一生失敗する覚悟を決めれば、人は一生成長できます。人は、自分の力の範囲から未来を選ぶのなら、失敗はそれほど生じないでしょう。しかし、そこには成長もありません。成長のためには、自分の能力ではできない範囲に手を伸ばす努力が必要です。」

みなさんの成長は無限です。無駄な失敗は1つありません。多くの失敗の中から成長が生まれてくるのだと思います。

本校を巣立つ3人の皆さん、どうか葛川小中学校での生活を誇りとして、一歩ずつ前進してください。

4月からは、それぞれの道を歩むこととなります。この地域、この学校で育ったことへの誇りと感謝の気持ちをしっかりと胸に刻み、夢と志を持って、大きく羽ばたいてくれることを願っています。



3月18日(金)、春の息吹を感じる朝を迎えました。第148回葛川小学校卒業証書授与式は、中学校同様、人数を縮小して執り行いました。卒業する4名は、これまでの小学校生活を振り返りながら、特別の思いでこの日を迎えました。

6年生は小学生のリーダーとして全校で行事に取り組む時や学習する時、遊ぶ時などいつもみんなのことを考えて声かけをしていました。運動会や紅葉祭、委員会活動や「KCLプロジェクトの取組」など皆さんの活躍は数えあげたらきりがありません。葛川粘土で商品開発をしようと、陶器作りに真剣でした。カエデの木からメープルシロップを作ろうと、冬山に登り、樹液を採取して煮詰めていました。実に甘いシロップができたときには、達成感でいっぱいでした。人の好奇心は不思議なもので、失敗を繰り返しても、みなさんは諦めることなく工夫を凝らしました。中学入学後はこれがどうなるのかと、今から楽しみにしています。

卒業する4名へのはなむけの言葉として、昨年、「みんなの学校」という映画で本校に来校された木村泰子さんの言葉を紹介します。

「見えない学力には4つあります。人を大切にする力、自分の考えをもつ力、自分を表現する力、チャレンジする力です」人は一人では生きていけません。自分も大切にしてほしいですし、相手を大切にする力を磨いてほしいと思います。また、自分の考えを持つことです。自分はこう考える、と言える人になってほしいです。そして、それを自分の言葉で、自分の態度で表現してほしいです。最後にチャレンジする力です。みなさんが生きる未来では、チャレンジして失敗することよりも、できることしかやらないほうが危険です。自分を信じて、とにかくやってみよう、と考えると、前に進んでいけると思います。

6年生の皆さんは、それぞれ自分の考えや志をもって一歩でも前へ進んでほしいと思います。皆さんの前向きな気持ちと葛川小学校で学んだ粘り強さを持ち続け、自分らしく輝いてほしいと願っています。



4・5月の主な行事

- 4/7日(木) 入学式準備
 8日(金) 新任式・始業式・入学式
 12日(火) 給食開始
 ○中：新入生を迎える会
 19日(火) 全国学力学習状況調査(小6、中3)
 22日(金) 学習参観、○中：部活保護者会
 26日(火) ○中：実力テスト(3年)
 27日(水) 家庭訪問
 28日(木) 家庭訪問
- 5/6日(金) 合同給食、○中：専門委員会
 10日(火) 集金日
 11日(水) 避難訓練
 19日(木) ○中：中体連春季大会(～20日)
 25日(水) 学校運営協議会
 30日(月) ○中：実力テスト(3年)



(※予定が変更になる場合があります。)

中学校卒業式「送辞」一部抜粋

三年生のみなさんが特に輝いて見えたのは、KCLプロジェクトの夏に行われた『びわ湖イカダ旅』でした。暑い日が続く中、諦めることなく30キロという長い道のりを漕ぎ切られました。米プラザに到着されたときの表情は、とても輝いて見えました。

運動会では、ダブルダッチに挑戦されました。僕は、サポートメンバーとして、一緒に取り組みました。僕は、みなさんと一緒にできる最後の演技を、魂を込めて踊り切りました。演技を終えた後のみなさんの姿は、とても格好良かったです。

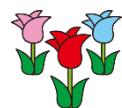
紅葉祭では、『バカッコいい一日』が大いに盛り上がりました。会場の人々の心を掴む素晴らしい作品に、僕たちは圧倒されました。来年度の紅葉祭は、みなさんが作り上げたものを越えられるように頑張りますので、ぜひ期待してください。

三年生のみなさん。今まで本当にありがとうございました。頼りにしていた先輩と、今日でお別れするのはとても残念で、寂しいです。しかし、みなさんを良きお手本として、何事に対しても自信をもって取り組んでいきたいと思えます。

卒業されても、葛川中学校での生活を忘れないでください。それぞれの道で、個性をいかして活躍されることを願っています。

最後になりましたが、みなさんのご健康とご多幸をお祈りして、お別れの言葉といたします。

小学校卒業式 在校生 メッセージ 一部抜粋



今、わたしたちは思い出しています。6年生のみなさんとすごしたあの時、この時を。運動会でダンスをおしえてくれたり、休みじかに なわとびをおしえてくれたりしてとてもわかりやすかったです。雪合戦をいっしょにしてうれしかったです。スキーきょうしつで、板をもってくれてありがとうございました。ユニホッケーで、うまいさくせんをおしえてもらったり学校林活動で、木の名前をおしえてもらったりしました。メープルシロップのさとうがおいしかったです。みんなあそびで川わたりをしたね。おはぎをいっしょに作ったりもしたね。いっしょにおそうじをしてくれてありがとう。初めての委員会、6年生にいろいろ教えてもらいました。すくすく算数もいっしょにできて楽しかったです。どんなときもわからないことはやさしく教えてくれた6年生。わたしたちの先頭に立ってリーダーシップをとってくれた6年生。これから私たちはみなさんの後を受け継ぎ、はげまし合い助け合って、葛川小学校を楽しい学校にしていきます。中学校へいかれても、私たちと過ごした日々を忘れないで下さい。いつも応援しています。

第24回日本水大賞



「文部科学大臣賞」受賞



トム・ソーヤースクール企画コンテストに続く快挙です。第24回日本水大賞(日本水大賞委員会:名誉総裁 秋篠宮皇嗣殿下、委員長:毛利衛氏 主催)に本校の小中のKCLプロジェクトを応募したところ、

見事「文部科学大臣賞」を受賞しました。(公式発表は3月下旬です。)テーマは「安曇川流域資源を活用した起業家精神育成の推進」です。

日本水大賞は、21世紀の日本のみならず地球全体を視野に入れて、水循環系の健全化を目指し、美しい水が紡ぎ出す自然の豊かさの中にも水災害に対して強靱な国土と社会の実現に寄与することを目的としています。審査基準は、対象となる活動が地域の要望ならびに地域の特性を十分踏まえ、独創性に優れ、水循環の健全化に寄与するもの、でした。

中3の「びわ湖イカダ旅」による筏流しの再現、筏文化の伝承、中2の「自然ガチャ」による葛川・久多の魅力発信、中1の「子ども小型水力発電所」の計画、小6の葛川粘土による陶器開発、メープルシロップの商品開発、小3・4の間伐材による木製品の開発・販売などが高く評価されました。

次年度も、「KCLプロジェクト」をさらに発展させていきたいと思います。